

葦 森 の 風

朝からあいにくの雨模様でした。今日は私立1期入試の第1日目です。3年生の一人ひとりが自分の持っている力をすべて出し切ってくれることを心から祈っています。全員が無事に受験できたことは、まずもって良かったと思います。

協同学習公開授業のご案内

2月3日(水)は「協同学習」の第1回公開授業日です。2月1日に隣接してしまい、大変ご迷惑をおかけいたしますが、時間があれば少しでも参観して頂ければ、生徒にとっても励みになります。

協同学習の推進その③ (前回に続いて)

1号に引き続いて、少しずつ「協同学習」の基本的な定義や理念について、説明させて頂いてきました。3年生はまさに進路決定に向けて、試練に立ち向かっているところです。1・2年生につきましても、日々の学習の中で、「協同学習」の実践を展開しているところです。まだまだ試行錯誤の段階なので、成果などの報告はできません。しかし、生徒は教師以上に、順応性が高く活動も徐々に活性化してきていると思います。

今回は、先進校である岡輝中学校PTA会報(21年2月)の中から、質問事項と回答を抜粋してご紹介いたします。

Q① 授業中に私語が多くなっていませんか？

A① 様子を見ている限りでは授業(話し合い)に集中している時に私語はほとんどありません。



Q② 生徒の表情はどうですか？

A② 柔らかい雰囲気を感じたと取材に来られた記者が言っていました。良い表情だと思います。

Q③ 内向的な性格の子は質問がしづらいのではないですか？

A③ 30数人の中と3~4人の中での質問は、比較にならないほど違います。協同学習は発言の不得手な生徒にとって、より大きな負担軽減になっています。

Q④ 協同学習に向いていない教科もあるのではないですか？

A④ 協同学習には、「他者から受けた刺激を自らの力にする」といった面がありますので、向いていない教科があるとは考えていません。

Q⑤ 協同学習を実施することによっての具体的な成果を教えてください。

A⑤ グループの形になった時に思わず教科書や資料集をを手に取るといった光景や、机に伏せていた生徒が、友達の声かけで顔をあげることができたといった変化が見えてきました。

Q⑥ 以前の授業形態で行うよりプラスになったと考えられるのはどのような場面ですか？

A⑥ 教科書の中の太字や重要語句を答えた後に、更につっこんだ質問をすると、「えっ!!」という表情をする生徒が増えました。また、「本当にそう?」「なぜそう思うの?」という教師の質問に真剣に考えようとする姿も見られるようになってきました。

一歩先へ(更に深く)学習内容を進めることができるようになったことはプラス面だと思います。また、自分で考える習慣が身についてきたからか、質の高いノートを残すことができる生徒も出てきました。

Q⑦ 教える側の生徒は、応用問題にチャレンジする時間はありますか？

A⑦ 我々教員は常々「教科書よりレベルの高い課題を提示しなさい」と指導を受けてきています。レベルの高い課題とは発想力や想像力なども求められる課題です。数学などでは、解けた後も更に新たな解法を要求されることもあります。また、いろいろな人から出た疑問や質問がグループ内で新たな課題となることもあります。ゴールしたら更に新たなゴールを設定するようにしていますので、教える側の生徒にとっては、じゅうぶん高いレベルの応用問題にチャレンジできていると思います。(次回へ続く)



3年生、大井神社での全員合格祈願!!

1月26日に3年生全員で、中学校の北側にある山頂の大井神社に合格祈願の参拝をしました。恒例行事になっています。担任から合格祈願の鉛筆が一人ひとりに贈られ、友達同士で交わしたお守りも渡されました。生徒会中心に2年生の応援メッセージも掲げられました。

ガンバレ受験生!!

